

遺愛中学生が遺愛幼稚園児に 科学の面白さを伝える！！

9月30日（水）の学期間休業の日に、遺愛中学校生物部の生徒5名が、元町の遺愛幼稚園の年長クラス34名に科学の不思議さ、面白さを伝えました。園児を5グループに分けて、遺愛中学生がいる5つのブースで中学生の指導の下、ローテーションしながら様々な実験を園児自らが行いました。

磁石や浮力の不思議、野菜や果物の断面をスタンプにして押し絵を描いたり、紫キャベツから抽出したアントシアニンを使い模様を描いたり、スライム作りをしました。中学生の説明を真剣に聞く園児のまなざしは将来の科学者をイメージさせるものでした。

中学生にとっても、最初は幼稚園児に伝える難しさを感じたようですが、臨機応変に表現を変え、5組目に説明する時はとても上手になっていました。



アントシアニンの実験



磁石と砂鉄の実験



浮力の実験



野菜・果物の断面スタンプ



スライム作り



園児から御礼にプレゼント

2015年9月30日（水）